

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

阿部 愛子

開催月日	令和7年10月29日(水)～30日(木)		
開催時間	令和7年10月29日(水)13時シンポジウム		
開催場所	京都府丹後文化会館		
主催者	第17回全国水源の里シンポジウム実行委員会、一般財団法人自治総合センター		
研修会等の名称	第17回全国水源の里シンポジウム		
講師等の氏名等	高橋博之 (株式会社雨風太陽 代表取締役社長)		
	1. 基調講演		
	2. パネルディスカッション		
	コーディネーター 杉岡秀紀 (福知山公立大学 地域経営学部准教授)		
	パネリスト 井上泰典 (株式会社 丹後乳販 代表取締役)		
	三本大介 (株式会社リバイタライズジャパン 代表取締役)		
	江草智子 (いやさか吉野地域づくり協議会地域マネージャー)		
	八隅孝治(株式会社あしあと代表取締役、元地域おこし協力隊)		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	現地視察研修費	第17回全国水源の里シンポジウム実行委員会	3,500
	会費		
	旅費		39,190
	宿泊費	第17回全国水源の里シンポジウム実行委員会	20,000
	振込手数料		
	合計		62,690

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

阿部 愛子

開催月日	令和7年10月29日(水)～30日(木)				
開催時間	令和7年10月29日(水)13時シンポジウム				
開催場所	京都府丹後文化会館				
主催者	第17回全国水源の里シンポジウム実行委員会、一般財団法人自治総合センター				
研修会等の名称	第17回全国水源の里シンポジウム				
講師等の氏名等	高橋博之 (株式会社雨風太陽 代表取締役社長)				
	<p>「集落を超えた広域的なコミュニティから始まる人口減少社会における活力の創造」 山の問題は町の問題である。人間の都合で農村の荒廃が進みクマが出没するようになり、 街でも大変になっている。これは自然からのしっぺ返しされているのではないか。山間地の 里山は人間が人間らしく生きる空間であり、大切にしていく必要がある。能動的にみんな で育ち合う人間の関係人口を作る。関係人口とは地域やその地域の人々とさまざまな形で継続 的に関わる地域以外の人々を示し「観光以上・移住未満」交流人口とは異なりあくまでも拠点 は地域以外に置きながら地域と継続的にかかわる人々を示した。高橋博之氏は 福島地震 災害・能登半島地震災害時は仲間と共に、食の支援活動を行い現在も関係人口支援を続け ている。平時から顔の見える関わりのなかで関係性をきづきあげ、関係人口を増やしておく事が 大事で、そのことが都会と地方の双方を活性化させる道に繋がる。人をかき混ぜて共に生きる。 感想 関係人口という言葉を知った。人口減少社会をみる角度が変わったと感じた。 先ず交流人口となってかき混ぜられ地方が好きになる。ハードルが低くなり超えやすいと思う。</p>				
上記活動に要した経費		支	払	先	金 額 (円)
	会場費				
	講師謝礼				
	出席者負担金(参加費)				
	会費				
	旅費				
	宿泊費				
	振込手数料				
	合 計				

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

阿部 愛子

開催月日	令和7年10月29日(水)～30日(木)		
開催時間	令和7年10月30日(木)		
開催場所	京丹後森林公園スイス村・京丹後舞輪源蒸留所		
主催者	第17回全国水源の里シンポジウム実行委員会、一般財団法人自治総合センター		
研修会等の名称	日本の原風景が息づく山あいの集落の先進的な地域づくりと、若者たちが挑むクラフトジンをめぐる		
講師等の氏名等	野間地域区長		
内容・結果等	<p>弥栄町の野間地区の住民は150人、山間部の小さな集落で清流にめぐまれた自然豊かな環境地域コミュニティサロンの活動は、夫婦が手をつないで写真を撮り公民館に展示する事から始まった。最初はなかなか受け入れられなかったが時間をかけて説得した。今ではおしゃれをして写真を撮ってもらうことを楽しんでいる。そこには地域マネージャーの人柄とあきらめない活動があった。また丹後乳販の取り組みでは毎日の牛乳配達で安否確認。年に何回か都会の有名なデパートのお菓子を移動販売をするなどして、高齢の住民を外に引っ張り出している。山の上の方ではかつてスキー場だった場所を利用して、夏場はライブ会場として都会の人たちを呼び込み夜中でも歌を楽しめる活動をしている。山の奥の方では300種類以上の薬草樹林が自生している。そのハーブを採取してフレッシュなままにクラフトジンを製造する蒸留所を作り若者たちがクラフトジンに挑戦し、「sfwsc2025最高金賞」を受賞した。道の駅などで販売している。(試飲もできる所になっていました。カクテルなどに使われているとのことでした。)</p>		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金(参加費)		
	会費		
	旅費		
	宿泊費		
	振込手数料		
	合計		